

ぶどう

薩摩川内市

Kさん(54才)

生産から販売まで単独で完結できる農業に魅力を感じている！

研修先

公益社団法人薩摩川内市農業公社

所在地及び連絡先

薩摩川内市入来町浦之名33番地

電話：0996-44-3140

<研修内容>

ぶどう
きんかん
ゴーヤ

(ぶどう)



(きんかん)



<新規就農を志した経緯・背景>

福岡県出身で福岡県内でサラリーマンとして勤務していたものの、生産から収穫販売まで自己完結できる農業という職業に日頃から興味があった。

特に果樹であるぶどうの生産に魅力を感じていたため、当初、地元福岡県内の果樹地域で研修先を検討したが、納得できる研修施設が見つからなかったため、前職の出張先で薩摩川内市に度々訪れていたこともあり、インターネット等で調べたところ薩摩川内市の研修施設の内容が充実していたこともあり農業研修生となることを決めた。

支援策の活用例

・薩摩川内市による、新規就農支援金補助金(年額150万円)を活用し、研修中の生活費、資材等を購入。

これまで苦労した点

・初めての農業経験であったことから農作業になれるまでは、体力的にきつかったこと。

研修して良かった点

・農業に関する基礎から専門分野まで知識の習得が図られたこと。
・体力もつき、生活リズムも規則的になり、健康的な生活が確保できていること。

就農に向けた今後の目標(現在)

【研修期間】(令和6年5月～令和7年4月)

・安定生産ができる栽培技術を習得すること。
・安芸クイーン、シャインマスカット、巨峰、ブラックビートの4品種について研修中。
・公社を通じてJA等に対して、後継者不在のブドウ農家で承継者として受け入れていただけないかについて依頼中。

(将来)

【就農後】(令和7年5月～)

・労働力が本人1人であることから、当初10a規模から始め、技術の向上度合いに応じて面積を拡大したい。
・自営就農を目指し、将来的には、直販・加工にも取り組みたい。

就農を目指す方へのアドバイス

・セカンドキャリアとして農業を選んだが、迷っている方は、思い切ってチャレンジしてほしい。
・研修センター等で基礎的な生産技術をしっかり学んだうえで取組んでほしい。